

資料⑥

2018年度 <実習施設調査>質問項目 (Web.調査画面)

看護師等養成所の実習受け入れ施設における実習指導の実態調査

ID、パスワードをご入力ください。

ID:

パスワード:

平成30年度 厚生労働省科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業
「看護師等養成所の実習受け入れ施設における実習指導の実態調査」

画面の指示に従って、ご回答ください。

【必須】

アンケートへの回答ご協力意思についてお答えください。

- 別紙「調査依頼状」に記載された内容を確認した上で、アンケートに協力する
- アンケートに協力しない

このアンケートでは、平成29年度の実績に基づいてご回答ください。

※29年度に受け入れの実績がない場合は、28年度の実績に基づいてご回答ください。

【用語の定義】

養成所 : 専修学校、各種学校

学校 : 大学院、大学、短期大学、高等学校

教育機関 : 養成所と学校を含む

[必須]

Q1 貴施設の施設種別を選択してください。(1つだけ選択)

- 病院
- 診療所
- 助産所
- 訪問看護ステーション
- 介護老人保健施設
- 介護老人福祉施設
- 保育所
- 保健所
- 市町村・市町村保健センター
- 事業所
- その他

[必須]

Q2 貴施設の設置主体を選択してください。(1つだけ選択)

- 国
- 都道府県
- 市町村
- 社会福祉法人
- 済生会
- 医師会
- 公益法人
- 学校法人
- 医療法人
- その他の法人

[必須]

Q3 貴施設の職員総数をお答えください。(1つだけ選択)

- 10名以下
- 11名～49名
- 50名～99名
- 100名～199名
- 200名～299名
- 300名～399名
- 400名～499名
- 500名～599名
- 600名～699名
- 700名～799名
- 800名～899名
- 900名～999名
- 1000名以上

[必須]

Q4 看護職員数をお答えください。

※常勤換算で数字を入力してください。

※小数点以下は切り捨てて入力してください。

 名

[必須]

Q5 貴施設が所在する都道府県名を選択してください。(1つだけ選択)

選択して下さい ▼

[必須]

Q6 昨年度受け入れた養成所の課程種別をすべて選択してください。
(当てはまるものすべて選択)

看護師3年課程

看護師2年課程

看護師2年課程(通信制)

准看護師課程

保健師課程

助産師課程

[必須]

Q7 貴施設が昨年度何校から実習を受け入れたか、数字でお答えください。

※受け入れていない場合は「0」を入力してください。

※小数点以下は切り捨てて入力してください。

【用語の定義】

養成所 : 専修学校、各種学校

学校 : 大学院、大学、短期大学、高等学校

教育機関 : 養成所と学校を含む

学校 校

養成所 校

[必須]

Q8 貴施設が昨年度、同時期に受け入れた最大教育機関数を数字でお答えください。

【用語の定義】

養成所 : 専修学校、各種学校

学校 : 大学院、大学、短期大学、高等学校

教育機関 : 養成所と学校を含む

校

【必須】

Q9 貴施設が昨年度実習を受け入れた総日数を選択してください。（1つだけ選択）

- 0～9
- 10～49
- 50～99
- 100～149
- 150～199
- 200～249
- 250～299
- 300以上

【必須】

Q10 貴施設の昨年度の実習生の受け入れ人数を数字でお答えください。

 人

【必須】

Q11 昨年度、看護師等養成所の実習の受け入れを断りましたか。

- はい
- いいえ

【昨年度、看護師等養成所の実習の受け入れを断ったことがある場合】

【必須】

Q11-1 前問（Q11）で「はい」とご回答いただいた理由をお答えください。
（当てはまるものをすべて選択）

- 他の学校養成所の実習を受け入れている
- 指導体制が十分でない
- その他

[必須]

Q12 受け入れている実習の種類をすべて選択してください。
(当てはまるものすべて選択)

<保健師>

個人・家族・集団・組織の支援実習

公衆衛生看護活動展開論実習

公衆衛生看護管理論実習

<看護師>

基礎看護学実習

成人看護学実習

老年看護学実習

小児看護学実習

母性看護学実習

精神看護学実習

在宅看護論実習

統合実習

その他（領域横断的な実習等）

<准看護師>

基礎看護実習

成人看護実習

老年看護実習

母子看護実習

精神看護実習

[必須]

Q13 養成所の学生1人当たりの費用をご入力ください。
※様々な規定がある場合は最も多く適用されるものをご入力ください。

1日当たり 最高 円

1日当たり 最低 円

この設問以降は、調査対象となった養成職種の養成所の実習についてお答えください。
調査対象職種は依頼状に記載しています。

[必須]

Q14 貴施設には実習指導者養成講習またはそれに相当する研修の修了者はいますか。
いる場合は、その人数をご入力ください。

いる → 名

いない

Q15 実習指導者講習会を受講している指導者がいない場合、指導の質保証のために工夫していることをお聞かせください。

[必須]

Q16 日々の実習指導に当たる職員一人当たりの担当学生数の平均を数字でお答えください。

指導者一人当たりの担当学生数

平均 名

実習指導体制の規程の有無についてお答えください。

[必須]

Q17 実習指導者の役割規定はありますか。（1つだけ選択）

あり

なし

[必須]

Q17-1 実習受け入れ体制の規程はありますか。（1つだけ選択）

※実習指導に関する組織目標や実習指導の責任／権限の所在を明示する規定や、
実習指導者会議等の問題解決／質向上のための仕組みに関する規定、
実習受け入れの条件等を定めた規定等

あり

なし

[必須]

Q18 実習指導と業務との兼務の状況について、当てはまるものを選択してください。
（当てはまるものすべて選択）

兼務はなし

常に兼務

職場の状況により兼務する場合がある

学生の状況（学年や人数等）により兼務する場合がある

その他

[必須]

Q19 指導の進捗状況や学生の情報について実習中に実習指導者はどのように把握していますか。
当てはまるものをすべて選択してください。（当てはまるものすべて選択）

※その他の方法を用いている場合は自由記載欄にご入力ください。

<input type="checkbox"/>	教員との情報共有
<input type="checkbox"/>	他の指導者との情報共有
<input type="checkbox"/>	ノート・メモ等記録での情報共有
<input type="checkbox"/>	対面での話し合い
<input type="checkbox"/>	実践場面の観察
<input type="checkbox"/>	カンファレンス場面
<input type="checkbox"/>	特に決めていない
<input type="checkbox"/>	その他 <input type="text"/>

[必須]

Q20 実習中に学生が使用できる施設等について、それぞれ当てはまるものを一つ選択してください。
（それぞれ1つだけ選択）

		学生専用がある	職員との共用設備がある	なし
討議室がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
更衣室がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
休憩室がある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
情報閲覧のためのPCがある	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[必須]

Q20-1 学生が使える看護用具を施設の備品として整備している。

<input type="radio"/>	している
<input type="radio"/>	していない

教員と実習指導者との連携についてうかがいます。
昨年度最も多くの実習を受け入れた1校との連携についてお答えください。

[必須]

Q21 連携のための会議や打ち合わせが定期的にありますか。(1つだけ選択)

- ある
- ない
- 不定期にある

【連携のための会議や打ち合わせが定期的にある場合】

[必須]

Q21-1 連携のための会議や打ち合わせが定期的にある場合、連携の内容をご記載ください。(当てはまるものすべて選択)

- 実習前
- 実習中
- 実習後

以下の項目は、実習指導の実際に関して、最も当てはまるものを各項目について1つずつ選択してください。

昨年度最も多くの学生を受け入れた1校の実習指導の実際についてお答えください。

[必須]

Q22 教員との連携はうまくいっている。

- とてもそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

[必須]

Q23 教員が貴施設で指導を行う時間（実習期間に対する割合）について。

- ほとんど不在
- 25%程度
- 50%程度
- 75%程度
- ほぼ100%

[必須]

Q24 学生は実習目標に見合った準備状況にある。

- とてもそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

[必須]

Q25 学生は実習目標を達成できている。

- とてもそう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない
- その他；到達度に関する情報がない

[必須]

Q26 実習目標達成のために、自施設の状況（患者や利用者の状況、指導体制等）は適している。

		とても適している	やや適している	どちらともいえない	あまり適していない	全く適していない
患者、利用者等の状況	→	●	●	●	●	●
実習指導体制	→	●	●	●	●	●

Q26-1 Q 2 6 でご回答いただいた理由をお答えください。

[必須]

Q27 本設問は看護師、准看護師の実習受け入れ施設のみお答えください。

下記に挙げた看護技術のうち、実習で学生が経験している技術をすべて選択してください。

※看護師等養成所の運営に関する手引きの別表3-2「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」をもとに、卒業時の到達レベルⅠ、Ⅱ、Ⅲとされている項目(観察項目、アセスメント項目を除く)について実施している項目をうかがいます。

			機 会 が あ き れ て ば い じ る こ と が あ る	見 学 の み	経 験 で き な い
環境調整技術	患者にとって快適な病床環境をつくる	→	●	●	●
	基本的なベッドメイキング	→	●	●	●
	臥床患者のリネン交換	→	●	●	●

[必須]

			機 会 験 が あ き て ば い 経 験 ／ で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
食事の援助技術	患者の状態に合わせた食事介助（嚥下障害のある患者を除く）	→	●	●	●
	患者の疾患に応じた食事内容の指導	→	●	●	●
	経鼻胃チューブからの流動食の注入	→	●	●	●
	経鼻胃チューブの挿入・確認	→	●	●	●

[必須]

			機 会 験 が あ き て ば い 経 験 ／ で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
排泄援助技術	自然な排便を促すための援助	→	●	●	●
	自然な排尿を促すための援助	→	●	●	●
	患者に合わせた便器・尿器を選択しての排泄援助	→	●	●	●
	ポータブルトイレでの患者の排泄援助	→	●	●	●
	患者のおむつ交換	→	●	●	●
	失禁をしている患者のケア	→	●	●	●
	膀胱留置カテーテルを挿入している患者のカテーテル固定、カテーテル管理、感染予防の管理	→	●	●	●
	導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入	→	●	●	●
	グリセリン浣腸	→	●	●	●

[必須]

			機 会 が あ き れ ば い じ る こ と が あ る	見 学 の み	経 験 で き な い
活動・休息援助技術	患者を車椅子で移送	→	●	●	●
	患者の歩行・移動介助	→	●	●	●
	入眠・睡眠を意識した日中の活動の援助	→	●	●	●
	臥床患者の体位変換	→	●	●	●
	患者の機能に合わせたベッドから車椅子への移乗	→	●	●	●
	廃用症候群予防のための自動・他動運動	→	●	●	●
	目的に応じた安静保持の援助	→	●	●	●
	体動制限による苦痛の緩和	→	●	●	●
	患者をベッドからストレッチャーへ移乗	→	●	●	●
	患者のストレッチャー移送	→	●	●	●
	関節可動域訓練	→	●	●	●

[必須]

			機 会 が あ き れ ば 経 験 ／ で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
清潔・衣生活 援助 技術	患者の状態に合わせた足浴・手浴	→	●	●	●
	患者が身だしなみを整えるための援助	→	●	●	●
	持続静脈内点滴注射を実施していない臥床患者の寝衣交換	→	●	●	●
	入浴の介助	→	●	●	●
	陰部の清潔保持の援助	→	●	●	●
	臥床患者の清拭	→	●	●	●
	臥床患者の洗髪	→	●	●	●
	意識障害のない患者の口腔ケア	→	●	●	●
	持続静脈内点滴注射実施中の患者の寝衣交換	→	●	●	●
	沐浴の実施	→	●	●	●

[必須]

			機 会 が あ き れ て は い る 経 験 ／ で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
呼吸・循環を 整える技術	患者の状態に合わせた温電法・冷電法	→	●	●	●
	患者の自覚症状に配慮した体温調節の援助	→	●	●	●
	末梢循環を促進するための部分浴・電法・マッサージ	→	●	●	●
	酸素吸入療法	→	●	●	●
	気道内加湿	→	●	●	●
	口腔内・鼻腔内吸引	→	●	●	●
	気管内吸引	→	●	●	●
	体位ドレナージ	→	●	●	●
酸素ポンベの操作	→	●	●	●	

[必須]

			機 会 が あ き れ て は い る 経 験 ／ で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
創傷管理技術	褥創予防のためのケア	→	●	●	●
	基本的な包帯法	→	●	●	●
	創傷処置のための無菌操作（ドレーン類の挿入部の処置も含む）	→	●	●	●

[必須]

			機 会 が あ き れ ば い じ る こ と が あ る	見 学 の み	経 験 で き な い
与薬の技術	直腸内与薬	→	●	●	●
	点滴静脈内注射の輸液の管理	→	●	●	●
	皮下注射	→	●	●	●
	筋肉内注射	→	●	●	●
	点滴静脈内注射	→	●	●	●
	輸液ポンプの基本的な操作	→	●	●	●

[必須]

			機 会 が あ き れ ば い じ る こ と が あ る	見 学 の み	経 験 で き な い
救命救急処置 技術	気道確保	→	●	●	●
	人工呼吸	→	●	●	●
	閉鎖式心マッサージ	→	●	●	●

[必須]

			機 会 験 が あ き れ て ば い 経 験 ／ で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
症状・生体機能管理技術	バイタルサインの測定	→	●	●	●
	身体計測	→	●	●	●
	目的に合わせた採尿の方法を理解し、尿検体を正しく取扱う	→	●	●	●
	簡易血糖測定	→	●	●	●
	正確な検査を行うための患者の準備	→	●	●	●
	検査の介助	→	●	●	●
	検査後の安静保持の援助	→	●	●	●
静脈血採血	→	●	●	●	

[必須]

			機 会 験 が あ き れ て ば い 経 験 ／ で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
感染予防技術	スタンダード・プリコーション（標準予防策）に基づく手洗い	→	●	●	●
	必要な防護用具（手袋、ゴーグル、ガウン等）の装着	→	●	●	●
	使用した器具の感染防止の取扱い	→	●	●	●
	感染性廃棄物の取り扱い	→	●	●	●
	無菌操作	→	●	●	●
	針刺し事故防止の対策	→	●	●	●

[必須]

			機 経 会 験 が あ き れ て ば い 経 る 験 / で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
安全管理の技 術	患者を誤認しないための防止策	→	●	●	●
	患者の機能や行動特性に合わせて療養環境を安全に整える	→	●	●	●
	患者の機能や行動特性に合わせて転倒・転落・外傷予防	→	●	●	●
	放射線暴露の防止	→	●	●	●
	誤薬防止の手順に沿った与薬	→	●	●	●

[必須]

			機 経 会 験 が あ き れ て ば い 経 る 験 / で き る	見 学 の み	経 験 で き な い
安楽確保の技 術	患者の状態に合わせて安楽に体位を保持する	→	●	●	●
	患者の安楽を促進するためのケア	→	●	●	●

Q28 実習を受け入れるに当たって、工夫していること、配慮していることなどをお聞かせください。

インタビュー調査の実施を予定しております。

インタビューでは、○実習内容の工夫とその効果○看護技術を実施する上で必要な指導体制や課題などについてうかがいます。

[必須]

Q29 あなたは、インタビュー調査にご協力いただけますか？

協力してもよい

協力したくない

Q30 インタビュー調査に協力してもよいとお考えの方は、以下に連絡先をご入力ください。

お名前 **[必須]**

姓	名
---	---

連絡先メールアドレス **[必須]**

	@	
--	---	--

* 半角英数字でご入力ください

メールアドレス確認用 **[必須]**

	@	
--	---	--

* 半角英数字でご入力ください

施設名 **[必須]**

--